

2026年11月刊行予定

近現代史料データベース

# オンライン版 入江俊郎関係資料

原本：入江邸旧蔵、国立国会図書館憲政資料室所蔵  
監修・解題：赤坂 幸一(九州大学教授)

¥400,000 [税別]

入江俊郎（1901-1972）の旧蔵資料を横断的に利用できるデータベース。この度、新たに発見された未公開の日記・手記・各種メモ及び膨大な原資料群で構成される。

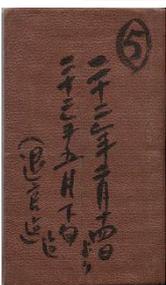
入江俊郎は、1924年内務省入省、戦後は法制局長官を務め、日本国憲法の立案責任者としてGHQとの折衝にあたるなど、新憲法制定の中心的人物として知られる。のちに貴族院議員、衆議院法制局長（初代）、最高裁判所判事を歴任。最高裁判事の在任期間は18年半に及び、1970年代まで長く第一線で活躍した。

本データベースは、入江俊郎ご親族のもとに残された、未公開の日記・手帳と旧蔵資料を初めて全面的に公開するものである。昭和20年代から40年代にわたる日記や手帳には、終戦直後の法制局内の混乱や、GHQとのやり取り等が記されており、法制史のみならず、憲政史、近現代史、政治外交史等における第一級の新史料として注目される。そのほか、入江の自筆メモ、講義ノート、来簡、入江の詳細な書き込みが付された最高裁判例等も収録。憲政資料室所蔵「入江俊郎関係文書」もあわせて搭載し、入江俊郎の膨大な旧蔵資料を横断的に利用できるようになる。

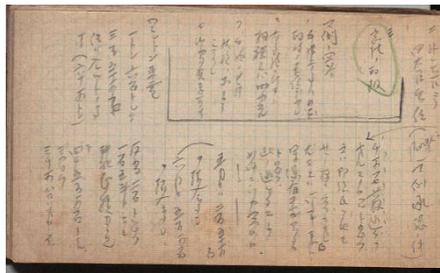
本データベースは、「近現代史料データベース」の新規コンテンツとして、既刊の「矢部貞治関係文書」「我妻栄関係文書」等との横断検索も可能である。

未公開日記

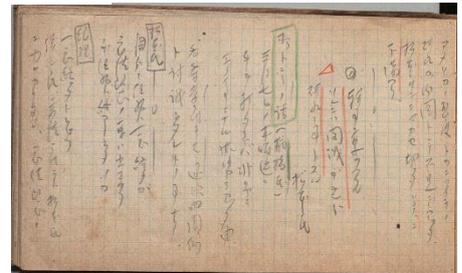
1946年3月15日



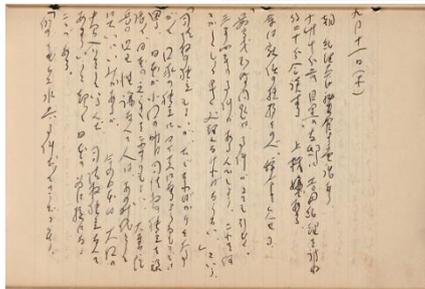
日記表紙



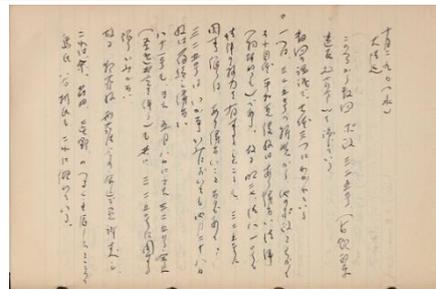
3月15日閣議 外務大臣ヨリ四大臣留任(purge)マ側承認ノ件  
憲法ノ取扱 マ側ノ回答...



ホイットニーノ話



1952年9月11日 朝、総理大臣秘書官より電話あり。...



1952年10月29日 大法廷 この間から数回が政三二五号  
(占領政策違反処罰令)を論じている。...

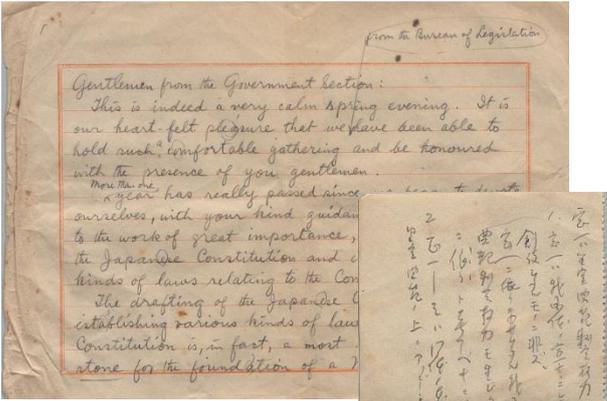
出版・発売：丸善雄松堂株式会社

J-DAC について

\*完全買切型（ご購入後のプラットフォーム利用料、年間維持費用は不要です）  
\*機関契約のデータベースです（ご所属の異動等によりデータベースのアクセス権を移籍することはできません）。  
お申し込みは学術機関に限ります。

戦前から戦後にかけて、多岐にわたる膨大な資料を収録

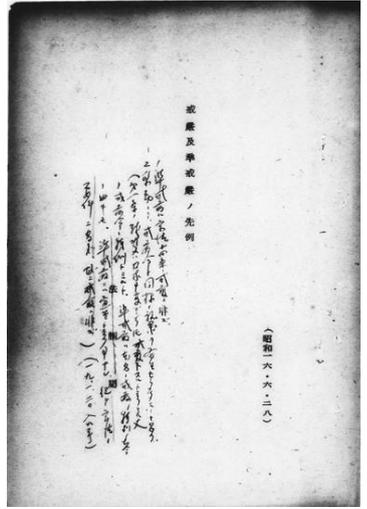
自筆メモ



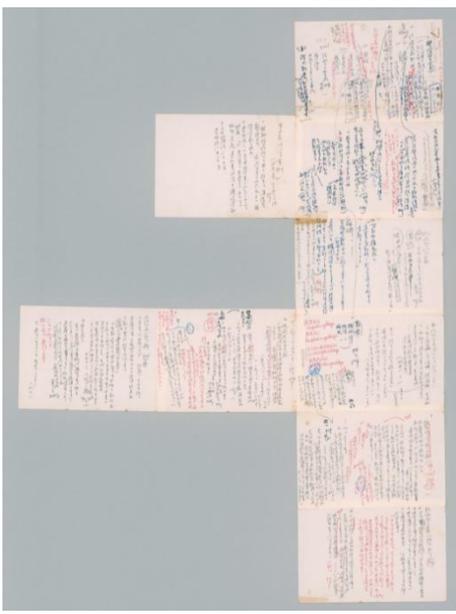
〔GHQ 関係者との会合における  
挨拶文章稿（昭和22年）〕

〔皇室典範に関するメモ〕

終戦処理関係

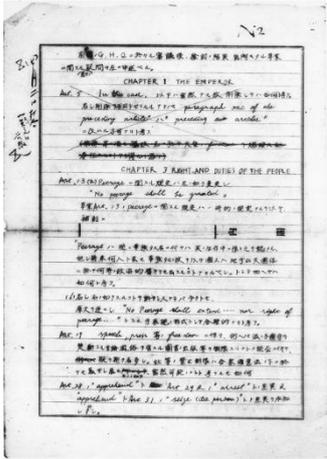


戒厳及準戒厳の先例(1941年6月28日)

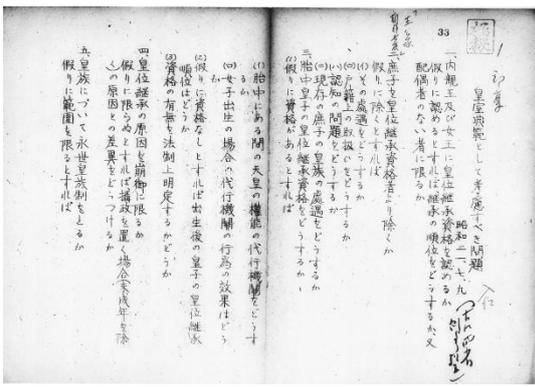


〔行政救済・行政訴訟に関するメモ〕

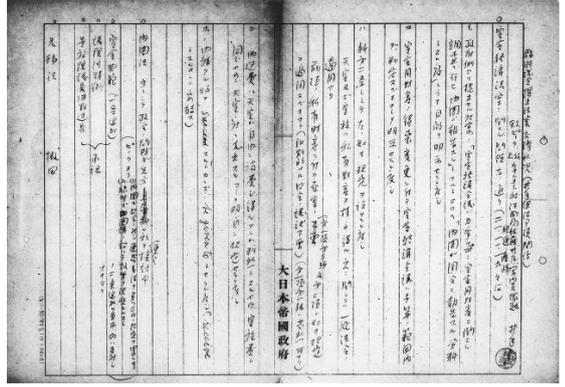
日本国憲法制定関係



G. H. Q. に於ける審議後、検討の結果気附きたる  
草案に関する若干の疑問を左に申述べる。

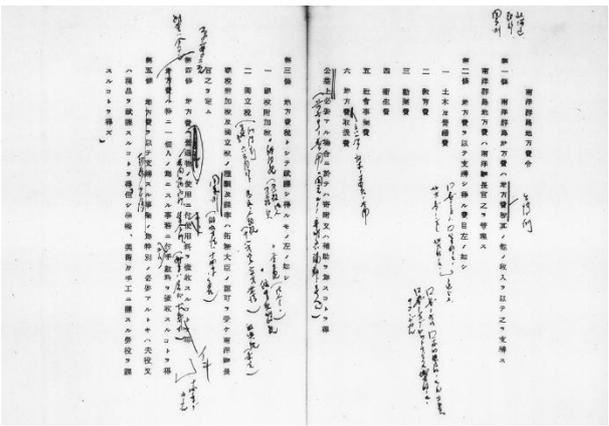


秘 皇室典範として考慮すべき問題(1946年7月9日)



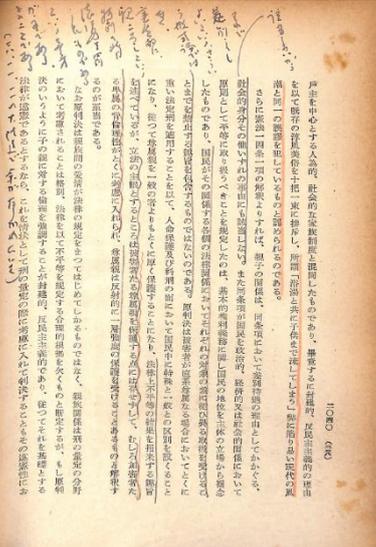
臨時議会提出法案交渉状況(井出) 皇室経済法案に関する問題  
左の通り(G. S. ピーク、E. S. S. ウォルター対法制局佐藤、井出、宮内省塚越、1946年11月19日午後)

植民地法制

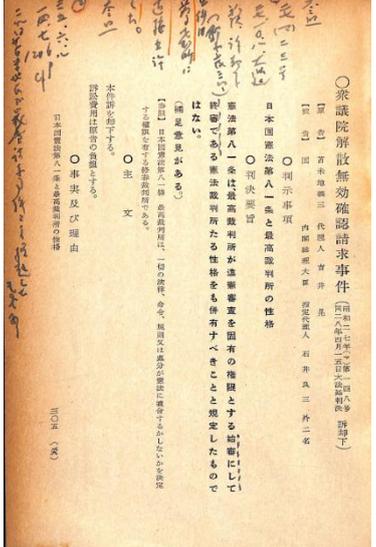


秘 南洋群島地方費令案(勅令) [1938年]

最高裁判例



専属傷害致死事件(1950年10月)



苦米地事件(1953年4月)